



# 上山小学校「風のたより」

令和5年8月8日（火） 校長 有谷孝彦



学校経営目標：ふるさとを愛し、  
自らの未来を切り拓く児童を育成する



## 私たちは迷走しません！

台風6号は、7月28日にフィリピン沖で発生し、沖縄本島を通過したと思ったら、また舞い戻り、今度は九州に接近しています。典型的な迷走台風です。もう10日以上も居座り続けています。本当に困ったものです。このお便りが皆さんのもとに届くころは、通過した後だと思いますが、被害がないことを祈っています。



台風の影響もあるのでしょうか。最近、諫早でも37℃を超える暑さが続き、私たちの生活にも大きな影響を与えています。約100年前の大正時代の新聞記事には、「猛暑要注意！27℃！」との記録が載っています。このまま夏の気温は上がり続けるのでしょうか？吐く息より吸う息の温度の方が高いので、運動するにも危険な状態です。健康にも留意しつつ、この夏を楽しみたいです。



「いのちの理由」  
さだまさし より 抜粋

私が生まれてきた訳は  
愛しいあなたに出会うため  
私が生まれてきた訳は  
愛しいあなたを護るため

# 平和について

昨年の「風のたより第8号」にも記載しましたが、今を生きる私たちの平和の意識が、以前より薄れているのではないかと個人的に危惧しております。戦後78年を迎えました。戦争の恐ろしさ、愚かさ等について直接私たちに伝えてくださる方々が少なくなりました。



私の母は昭和一桁生まれで、小学生の頃に戦争を体験しています。松浦市に住んでいた母は、佐世保の大空襲を遠くの山の向こう側に見たと言います。激しい炎で夜空を赤く染める様子は、今でも鮮明に覚えており、その恐怖を忘れられないそうです。また、幼い弟二人を連れて防空壕へ逃げる途中、戦闘機に追われ、機銃掃射を受けた時の恐ろしさ、兄が兵隊として招集された時のこと、決して満足できない食事のこと等を話して聴かせてくれます。また、長崎市では、被爆者や被爆二世の方々を中心に、語り部活動等による平和推進活動が引き継がれておりますが、傳承者が少なくなっているといえます。このような時だからこそ、平和について本気で、継続して考えなければならぬと強く思います。

この78年間で平和国家「日本」が築かれました。過去の悲惨な戦争を二度と繰り返さないという強い思いで、平和の礎が築かれました。私たちは、その上に胡座(あぐら)をかいて生きてはいけません。私たちのできる小さな「平和」を積み重ねることで、そして語り継ぐことで平和な世界づくりを推し進めていきたいものです。

## 学力調査の結果について

### 長崎県学力調査の結果

学年・教科	県平均との比較
5年 国語	+7.7
5年 算数	+1
6年 理科	+4.3

### 全国学力調査の結果

学年・教科	県平均との比較	全国平均との比較
6年 国語	+4	+2.8
6年 算数	+4	+1.5

※まだまだ、伸びしろはあります。分析後、2学期の学習にいかします。

★上山小のHP「スミレだより」毎日更新しています。QRコードもご利用ください。